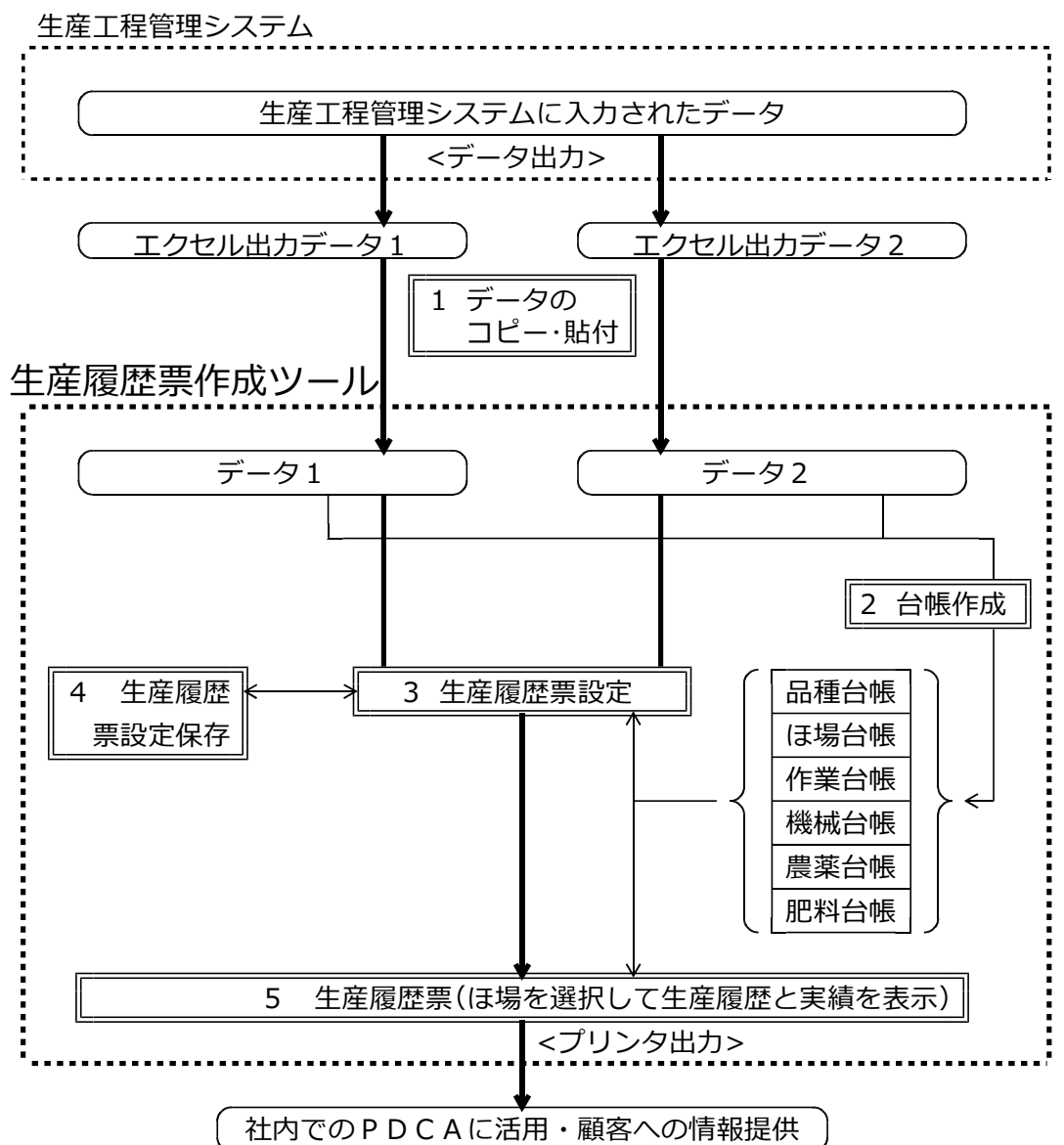


生産履歴票作成ツールの使用方法

I ほ場ごとの生産履歴票作成のフロー



※各種台帳や生産履歴票設定に変更がなければ「2 台帳作成」、「3 生産履歴票設定」、「4 生産履歴票設定保存」は省略可能です。

※「データ1」と「データ2」がある理由

生産工程管理システムから出力項目や年度、作目等が異なる2つのエクセルシートを出力して、その両方のシートから指定したほ場の必要な情報を1ペーパーに印刷することができます。

ほ場番号が共通であれば、昨年と今年を比較するような生産履歴票作成も可能です。

II 各生産工程管理システムへの対応（汎用性）

Iの「2 台帳作成」と「3 生産履歴票設定」のプロセスでは、項目構成や各項目の表示列が異なる各社のシステムから出力されたエクセルデータから、エクセルの「列記号」を指定することにより生産履歴票の作成の設定を行います。

したがって、どの生産工程管理システムからのエクセル出力データからであっても、生産履歴票の作成が可能です。

生産工程管理システムのエクセル出力シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	No	日付	作業状態	作付計画	圃場					作業項目	
2					圃場ブロック	圃場番号	圃場名	面積 (a)	面積 (㎡)		名前
3	1	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	485	485山田東	30	3000	播種	鹿児島 太郎
4	2	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	67	67島中	35	3500	播種	鹿児島 太郎

← 生産履歴票設定シートで列記号を入力 →

5	工程区分1										
6	工程区分名	播種 定植まで									
7	データシート	データ1									
8	対象作業	土壌消毒	播種	定植							
10	生産履歴票に記載する項目名			項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6		
11			日付	作業名	品種名						
12		列記号1	B	J	W						
14	データシートの列記号	列記号2									
16		列記号3									
18		列記号4									
20	1セル複数データの処理										
21	リンク	台帳名									
22	(列記号1)	リンク元列名									
25		リンク先列名									
28	リンク	台帳名									
29	(列記号2)	リンク元列名									
32		リンク先列名									

Ⅲ 生産履歴票作成ツールの使用方法

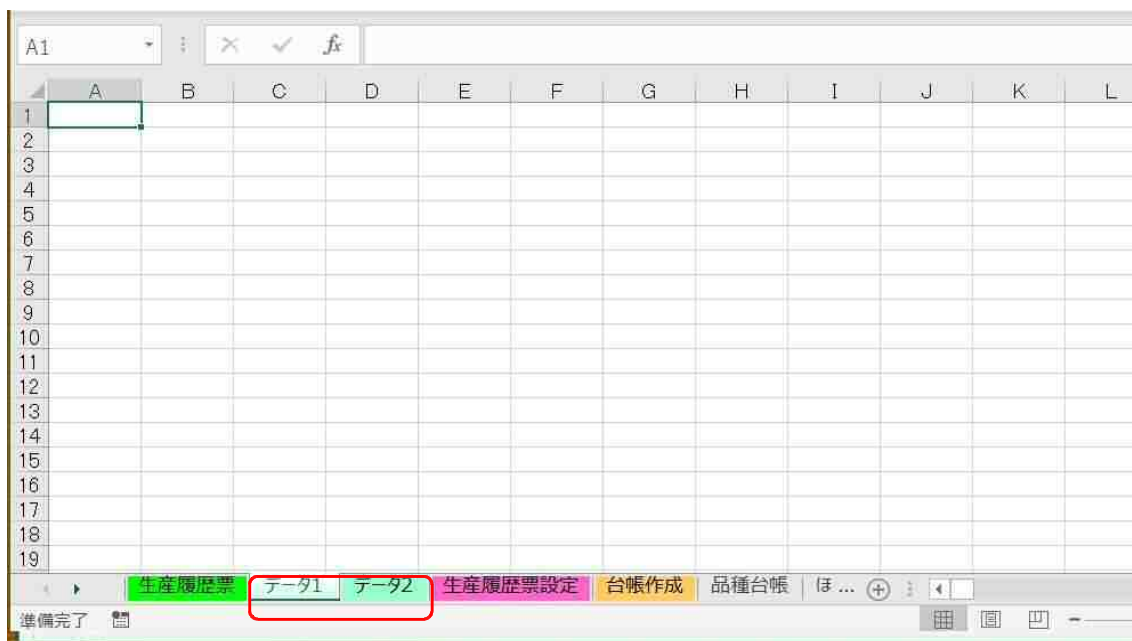
1 データのコピー・貼付（生産工程管理システムのデータ貼付）

生産工程管理システムのエクセル出力のデータを、シートごと生産履歴票作成ツールの「データ1」または「データ2」シートに貼り付けます。

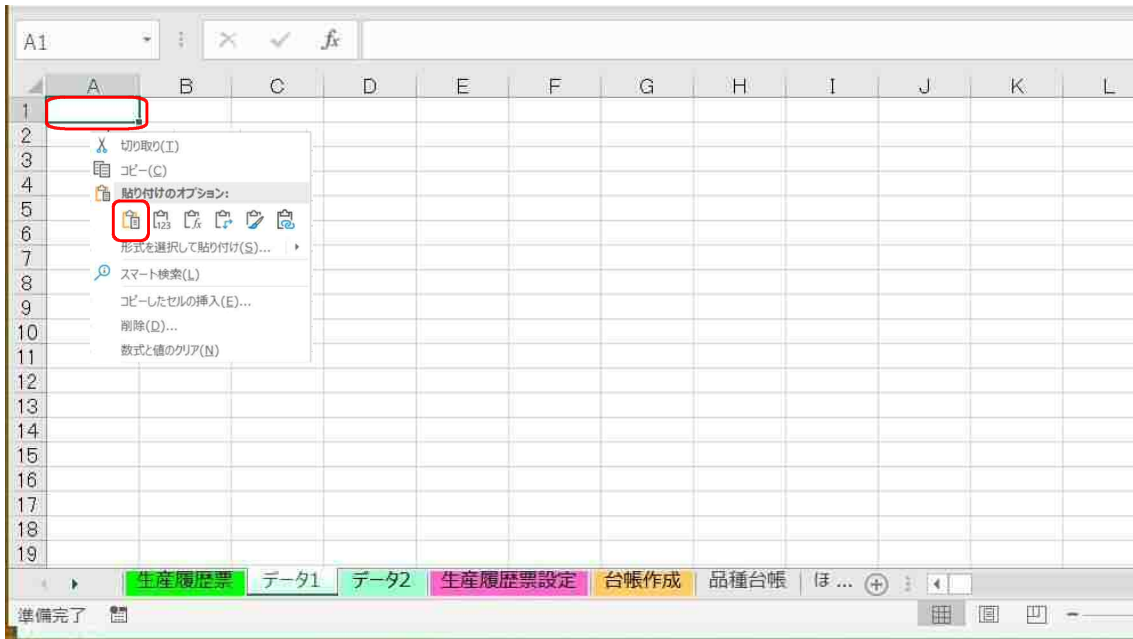
- (1) 生産工程管理システムからエクセル出力したシートの左上端を右クリックして、シート全体をコピーします。



- (2) 生産履歴票作成ツールの「データ1」または「データ2」シートを選択します。



(3) 「データ1」または「データ2」シートのA 1セルを右クリックして貼り付けます。



2 台帳データの作成

台帳データは、生産履歴票設定の際に対象ほ場や対象品種、対象作業を指定する際や、機械、農薬、肥料等に関連するエクセル出力データに記載されていない情報を生産履歴票に表示するために必要です。

「品種台帳」、「ほ場台帳」、「作業台帳」、「機械台帳」、「農薬台帳」、「肥料台帳」の6台帳を、エクセル出力のデータから自動（マクロ）で作成します。

以前台帳を作成した時点と変化がなければ、毎回作成する必要はありません。

(1)「台帳作成」シートを選択します。

No	日付	作業状態	作付計画	圃場					作業項目	名前
				圃場ブロック	圃場番号	圃場名	面積 (a)	面積 (ri)		
1	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	485	細山田 1 5	30	3000	播種	鹿児島太郎
2	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	67	細山田 2 3	35	3500	播種	鹿児島太郎
3	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	316	細山田 7	40	4000	播種	鹿児島太郎
4	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	378	細山田 1 2	20	2000	播種	鹿児島太郎
5	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	379	細山田 1 6	11	1100	播種	鹿児島太郎
6	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	418	細山田 4	15	1500	播種	鹿児島太郎
7	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	67	細山田 5	35	3500	除草剤散布1	大隅 光一
8	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	485	細山田 1 5	30	3000	除草剤散布1	大隅 光一
9	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	397	細山田 2 2	50	5000	播種	大隅 光一
10	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	318	細山田 6	70	7000	播種	大隅 光一
11	2017/12/9	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	316	細山田 7	40	4000	除草剤散布1	大隅 光一
12	2017/12/12	完了	2017ごぼう	4大崎・東串良	359	大崎 1	40	4000	収穫	大隅 光一
13	2017/12/14	完了	2017ごぼう	4大崎・東串良	358	大崎 1 6	40	4000	播種	大隅 光一

「台帳作成」シートを表示します。

「データ1」シートからの台帳作成					「データ2」シートからの台帳作成						
データ開始行	3				データ開始行	3					
重要:この行からデータを読み込みます。					重要:この行からデータを読み込みます。						
品種台帳作成					作業台帳作成						
列記号	品種名				列記号	品種名					
	ar					ar					
ほ場台帳作成					ほ場台帳作成						
列記号	ほ場番号	ほ場名	地番	面積	品種	列記号	ほ場番号	ほ場名	地番	面積	品種
	F	G		H	AR		F	g		h	ar
重要:この項目で、ほ場を識別します。					重要:この項目で、ほ場を識別します。						
作業台帳作成					作業台帳作成						
列記号	作業名				列記号	作業名					
	j					j					

(2)「データ」シートの何行目から生産履歴のデータが始まるかを指定します。

「データ1」シートからの台帳作成

これが正しく入力していなければ
生産履歴票は作成されません。

データ開始行	3	台帳作成
--------	---	------

エクセル出力 データ

No	日付	作業状態	作付計画	圃場ブロック	圃場番号	圃場名	面積 (a)	面積 (㎡)	作業項目	名前
1	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	485	細山田 1 5	30	3000	播種	鹿児島太郎
2	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	67	細山田 2 3	35	3500	播種	鹿児島太郎
3	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	316	細山田 7	40	4000	播種	鹿児島太郎
4	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	378	細山田 1 2	20	2000	播種	鹿児島太郎
5	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	379	細山田 1 6	11	1100	播種	鹿児島太郎
6	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	418	細山田 4	15	1500	播種	鹿児島太郎
7	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	67	細山田 5	35	3500	除草剤散布1	大隅 光一
8	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	485	細山田 1 5	30	3000	除草剤散布1	大隅 光一
9	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	397	細山田 2 2	50	5000	播種	大隅 光一
10	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	318	細山田 6	70	7000	播種	大隅 光一
11	2017/12/9	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	316	細山田 7	40	4000	除草剤散布1	大隅 光一
12	2017/12/12	完了	2017ごぼう	4大崎・東串良	359	大崎 1	40	4000	収穫	大隅 光一
13	2017/12/14	完了	2017ごぼう	4大崎・東串良	358	大崎 1 6	40	4000	播種	大隅 光一

(3)「台帳作成」シートの品種台帳作成、ほ場台帳作成、作業台帳作成、機械台帳作成、農薬台帳作成、肥料台帳作成の各表の「列記号」欄に、エクセル出力データの各項目の列記号を入力して指定します。

大文字、小文字、全角、半角どの字体でもかまいません。

ほ場台帳作成					
列記号	ほ場番号	ほ場名	地番	面積	品種
	F	G		H	AR

エクセル出力データ

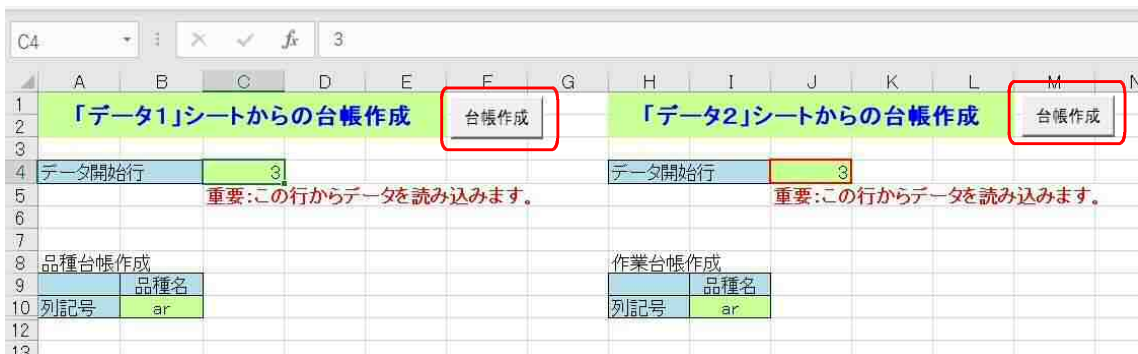
No	日付	作業状態	作付計画	圃場ブロック	圃場番号	圃場名	面積 (a)	面積 (㎡)	作業項目	名前
1	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	485	細山田 1 5	30	3000	播種	鹿児島太郎
2	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	67	細山田 2 3	35	3500	播種	鹿児島太郎
3	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	316	細山田 7	40	4000	播種	鹿児島太郎
4	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	378	細山田 1 2	20	2000	播種	鹿児島太郎
5	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	379	細山田 1 6	11	1100	播種	鹿児島太郎
6	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	418	細山田 4	15	1500	播種	鹿児島太郎
7	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	67	細山田 5	35	3500	除草剤散布1	大隅 光一
8	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	485	細山田 1 5	30	3000	除草剤散布1	大隅 光一
9	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	397	細山田 2 2	50	5000	播種	大隅 光一
10	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	318	細山田 6	70	7000	播種	大隅 光一
11	2017/12/9	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	316	細山田 7	40	4000	除草剤散布1	大隅 光一
12	2017/12/12	完了	2017ごぼう	4大崎・東串良	359	大崎 1	40	4000	収穫	大隅 光一
13	2017/12/14	完了	2017ごぼう	4大崎・東串良	358	大崎 1 6	40	4000	播種	大隅 光一

※注意（重要）

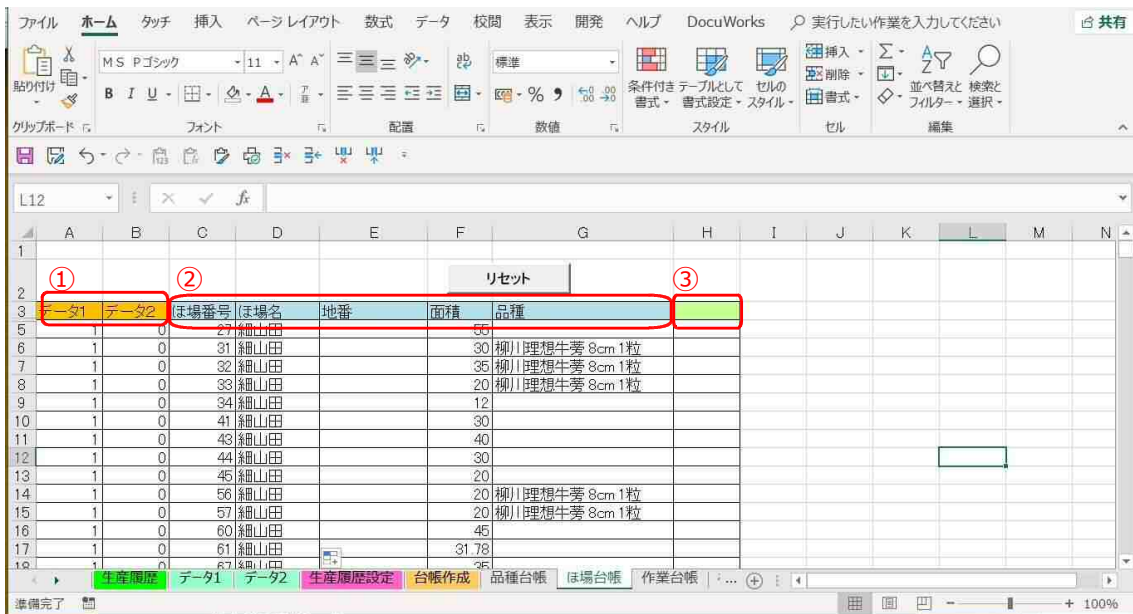
（3）のほ場台帳作成のほ場番号は、ほ場ごとの生産履歴票を作成する際に検索する列を指定する重要な役割があります。

この設定を誤っていると、指定したほ場の作業データを拾いませので注意してください。

（4）品種台帳作成、ほ場台帳作成、作業台帳作成、機械台帳作成、農薬台帳作成、肥料台帳作成のすべての項目の設定が終了したら、「台帳作成」シートの「台帳作成」ボタンをクリックします。



（5）各シートに台帳が作成されています。



※各台帳の項目の色塗りの説明

①オレンジ色の部分

そのデータ（上図ではほ場）は「データ1」シートから作成されたものであるか、「データ2」シートから作成されたものであるかを示します。両方のシートにあるほ場は、「データ1」と「データ2」の両方に「1」が入ります。

上図の場合、ほ場台帳のデータはすべて「データ1」シートからきており、「データ2」シートからの台帳作成はまだ行われていない状態です。

②薄青色の部分

データシートから作成された台帳の記載データであり、加除修正はできません。台帳作成の時に、左端（上図では場番号）の項目で並べ替えが行われています。

③黄緑色の部分

右側の黄緑色の部分は自由に項目名をつけて設定できます。

生産履歴票作成の際に、「リンク」によって、「データ1」、「データ2」シートにない項目であっても生産履歴票に表示することもできます。

(6) 各台帳シートの右上に「リセット」ボタンがあります。このボタンをクリックすると台帳データはすべて消去されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2							リセット	
3	データ1	データ2	ほ場番号	ほ場名	地番	面積	品種	

(7) 区切り文字として使用

右図のように、1つのセルに複数データが含まれている場合に、どの記号で区切るかの設定を「台帳作成」シートのO列～Q列で行います。

右図の7文字（改行を含む）にがついて「する」になっていた場合、その文字があったらデータの区切りとして扱われます。

	T	U	V
	石原ネマトリンエース 粒剤	10 kg/10a 3 kg/10a	25 kg 7.5 kg
38	トクチオン粉剤		
	石原ネマトリンエース 粒剤	10 kg/10a 3 kg/10a	50 kg 15 kg
39	トクチオン粉剤		

	O	P	Q
1セルに複数データが入力されている場合			
区切り文字として使用			
	改行	する	
、	半角カンマ	する	
、	全角カンマ	する	
、	半角読点	する	
、	全角読点	する	
/	半角スラッシュ	する	
/	全角スラッシュ	する	

3 生産履歴票設定（生産履歴票作成のための設定）

生産履歴票作成ツールでは、「取引先提出用」、「社内実績検討用」、「前年度比較用」など、生産帳票作成のフォーマットをいくつでも作成して保存し、必要なときに呼び出して、そのフォーマットで生産履歴票を作成することができます。

作成する生産履歴票には、例えば「播種まで」、「管理作業」、「収穫作業」のように、最大5つの工程区分に分けて、それぞれの工程区分ごとに表示する項目を変えて生産履歴票の作成ができます。各工程区分ごとに6項目の表示ができます。

(1) 「生産履歴票設定」シートを選択します。

No	日付	作業状態	作付計画	圃場					作業項目	名前
				圃場ブロック	圃場番号	圃場名	面積 (a)	面積 (ri)		
1	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	485	細山田 1 5	30	3000	播種	鹿児島太郎
2	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	67	細山田 2 3	35	3500	播種	鹿児島太郎
3	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	316	細山田 7	40	4000	播種	鹿児島太郎
4	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	378	細山田 1 2	20	2000	播種	鹿児島太郎
5	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	379	細山田 1 6	11	1100	播種	鹿児島太郎
6	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	418	細山田 4	15	1500	播種	鹿児島太郎
7	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	67	細山田 5	35	3500	除草剤散布1	大隅 光一
8	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	485	細山田 1 5	30	3000	除草剤散布1	大隅 光一
9	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	397	細山田 2 2	50	5000	播種	大隅 光一
10	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	318	細山田 6	70	7000	播種	大隅 光一
11	2017/12/9	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	316	細山田 7	40	4000	除草剤散布1	大隅 光一
12	2017/12/12	完了	2017ごぼう	4大崎・東串良	359	大崎 1	40	4000	収穫	大隅 光一
13	2017/12/14	完了	2017ごぼう	4大崎・東串良	358	大崎 1 6	40	4000	播種	大隅 光一

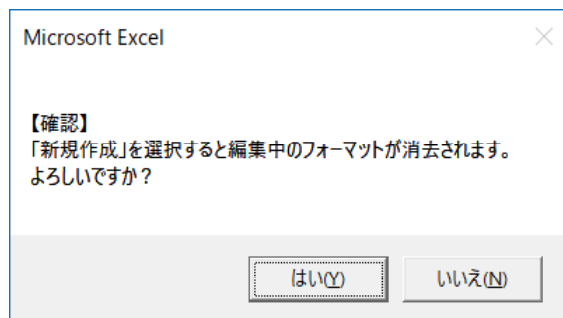
(2) 「フォーマット選択」で、新規作成するか、既存のフォーマットを呼び出すかを選択します。

生産履歴票作成の詳細設定						
フォーマット選択	新規作成					
工程区分1	新しい名前で作成					
工程区分名	提出用					
データシート	社内検討用					
対象作業						
生産履歴票に記載する項目名	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6
	列記号1					

※注意

「新規作成」を選択すると、右図の確認メッセージが表示されます。

「はい」を選択すると編集中にフォーマットが消去され、この画面に何も入力されていない状態に戻りますので注意してください。



(3) ここからは「工程区分」ごとのフォーマットの入力について説明します。

生産履歴票作成ツールでは、最大5つの工程区分に分けて履歴票を作成することができます。

工程区分ごとの設定方法はすべて同じですので、ここでは「工程区分1」のみについて説明します。

工程区分1							
工程区分名	播種、定植まで						
データシート	データ1						
対象作業	土壌消毒	播種	定植				
生産履歴票に記載する項目名		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6
		日付	作業名	資材名	区分	使用量	品種名
データシートの列記号	列記号1	B	J	T	T	V	AR
	列記号2			X	X		
	列記号3						
	列記号4						
1セル複数データの処理			あり	あり	あり		
リンク (列記号1)	台帳名				農薬台帳		
	リンク元列名				農薬名		
	リンク先列名				区分		
リンク (列記号2)	台帳名				肥料台帳		
	リンク元列名				肥料名		
	リンク先列名				区分		

(3) - 1 「工程区分名」を入力します。

工程区分1	
工程区分名	播種、定植まで

※説明

「工程区分名」が入力されていることで、その工程区分が生産履歴票に表示されます。「工程区分名」が空白のままであれば、その工程区分は表示されません。

(3) - 2 「データシート」を選択します。

データシート	データ1	▼
	データ1	
	データ2	

※説明

生産履歴票作成ツールでは、工程区分ごとに使用する生産工程管理システムのデータを、「データ1」シートと「データ2」シートから選択することができます。

ほ場番号が同一であれば、「データ1」シートに当年度のデータを、「データ2」シートに前年度のデータを貼り付けておくと、当年度と前年度の作業の比較ができます。

(3) - 3 「対象作業」を選択します。

対象作業	土壌消毒	▼
	つら切	
	バオバオ	
	収穫	
	除草剤散布1	
	選別・選果	
	定植	
	土壌消毒	
	播種	

※説明

各工程区分で表示する作業を、作業台帳の作業名の中から最大14個まで選定することができます。

(3) - 4 「生産履歴票に記載する項目名」を入力します。

生産履歴票に記載する項目名	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6
	日付	作業名	資材名	区分	使用量	品種名

※説明

それぞれの工程区分の表に最大6項目まで表示することができます。その項目名はキーボード入力で自由に設定することができます。

(3) - 5 「データシートの列記号」を設定します。

生産履歴票に記載する項目名		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6
		日付	作業名	資材名	区分	使用量	品種名
データシート の列記号	列記号1	B	J	T	T	V	AR
	列記号2			X	X		
	列記号3						
	列記号4						

No	日付	作業 状態	作付計画	圃場 ブロック	圃場 番号	圃場 名	面積 (a)	面積 (㎡)	作業項目	名前
1	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	485	細山田 1 5	30	3000	播種	鹿児島太郎
2	2017/12/2	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	67	細山田 2 3	35	3500	播種	鹿児島太郎
3	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	316	細山田 7	40	4000	播種	鹿児島太郎
4	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	378	細山田 1 2	20	2000	播種	鹿児島太郎
5	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	379	細山田 1 6	11	1100	播種	鹿児島太郎
6	2017/12/5	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	418	細山田 4	15	1500	播種	鹿児島太郎
7	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	67	細山田 5	35	3500	除草剤散布1	大陽 光一
8	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	485	細山田 1 5	30	3000	除草剤散布1	大陽 光一
9	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	397	細山田 2 2	50	5000	播種	大陽 光一
10	2017/12/7	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	318	細山田 6	70	7000	播種	大陽 光一
11	2017/12/9	完了	2017ごぼう	1事務所周辺	316	細山田 7	40	4000	除草剤散布1	大陽 光一
12	2017/12/12	完了	2017ごぼう	4大崎・東串良	359	大崎 1	40	4000	収穫	大陽 光一
13	2017/12/14	完了	2017ごぼう	4大崎・東串良	358	大崎 1 6	40	4000	播種	大陽 光一

※説明

生産履歴票作成の元になるデータシートの、その項目として表示したい列の列記号を入力します。大文字・小文字や全角・半角はいずれでもかまいません。

※説明 「列記号1」～「列記号4」について

各項目に表示するデータシートの列を4列まで選択できます。例えば、「資材名」の項目で「列記号1」には農薬名、「列記号2」には肥料名というように複数の列からデータを表示することができます。この場合、農薬名と肥料名に両方データが入力されていたとしても、両方とも生産履歴票に表示されます。

(3) - 6 「1セル複数データの処理」を設定します。

1セル複数データの処理			あり	あり	あり	あり
-------------	--	--	----	----	----	----

※説明

「2 台帳データの作成」の「(6) 区切り文字として使用」で設定した区切り文字により、1つのセルに複数のデータが入力されているセルがある場合に「あり」と指定します。

その指定がなければ、区切り文字で区切られていても1つのデータとして表示されます。

	T	U	V
38	石原ネマトリンエース 粒剤	10 kg/10a	25 kg
	トクチオン粉剤	3 kg/10a	7.5 kg
39	石原ネマトリンエース 粒剤	10 kg/10a	50 kg
	トクチオン粉剤	3 kg/10a	15 kg

この場合、区切り文字は改行

(3) - 7 「リンク (列記号 1 or 2)」を設定します。

生産履歴票に記載する項目名		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6
		日付	作業名	資材名	区分	使用量	品種名
データシート の列記号	列記号1	B	J	T ①	T	V	AR
	列記号2						
	列記号3						
	列記号4						
1セル複数データの処理				あり	あり	あり	
リンク (列記号1)	台帳名			② 農薬台帳			
	リンク元列名			③ 農薬名			
	リンク先列名			区分			

農薬台帳

農薬名	区分				
クロロIPC「日産」	除草				
サンフーロン液剤	病害				
トクチオン粉剤	害虫				
ナブ乳剤	除草				
プリグロックSL	病害				
石原ネマトリンエース粒剤	害虫				

↑「区分」は黄緑色の領域なので、利用者が入力したデータです。

播種、定植まで

日付	作業名	資材名	区分	使用量	備考
12月5日	播種	石原ネマトリンエース粒剤	害虫	16.5 kg	
		トクチオン粉剤	害虫	4.4 kg	

※上図の例での説明

ここでは、項目4の列記号1について、農薬名にリンクさせて、各農薬が「除草・病害・害虫」のどの「区分」であるかを表示させます。

- ① リンク元の項目（ここでは農薬名）が入っているデータシートの列記号（ここでは農薬名が入っているT列）を入力します。
- ② データシートのT列には各種農薬名が入っています。それらの農薬が該当する区分は農薬台帳に記載されています。
したがって「リンク」の台帳名には「農薬台帳」を選択します。
- ③ 「農薬台帳」の列の名称から、「リンク元列名」と「リンク先列名」を選択します。
この場合、データシートのT列に入っているのは「農薬名」ですので、リンク元列名には「農薬名」を選択します。
また、リンク先列名としては、除草・病害・害虫という区分を表示させたいので「区分」を選択します。

※上記例をもとにしたリンク機能の解説

リンク機能のプログラムは、データシートのT列で農薬名を認識すると、「農薬台帳」シートを読み込んで、その「農薬名」の列で認識した農薬名を探します。

「農薬台帳」の「農薬名」の列で認識した農薬名と同じ農薬名を見つけたら、その行の「区分」の列にある情報を生産履歴票の「区分」の項目の欄に表示します。

このように、取引先等の要望に応じて、生産工程管理システムからの出力データには出力されない項目も生産履歴票に表示することができます。

(4) 生産履歴票の列幅を調整します。

日付	作業名	資材名	区分	使用量	品種名
1月14日	播種	石原ネマトリンエース粒		30 kg	柳川理想牛蒡 8cm 1粒
		トクチオン粉剤		9 kg	

日付	作業名	資材名	区分	使用量	備考
1月16日	除草剤散布1	クロロPC「日産」		300 L	

※解説

「生産履歴票」シートを選択して列幅を調整します。

調整方法は、上図の例では列記号部分（グレーの部分）のB列とC列の境界部分にマウスポインタを合わせ（マウスポインタの形が変わる）、その左側にあるB列の列幅を指定します。

※注意

生産履歴票作成ツールでは、エクセルの制約により各工程区分の項目1～項目6の列幅は共通となります。

例えば、「工程区分3だけ項目4の幅を広くとりたい」ということはできません。

このような場合、工程区分3の項目5を設定しなければ、項目4の内容を項目5のスペースまで使って表示します。

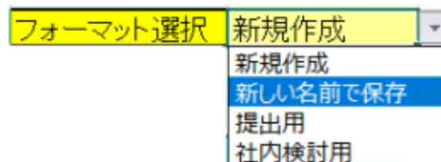
4 生産履歴票設定保存

「3 生産履歴票設定」が終了したら、その設定を保存し、必要に応じて呼び出すことができます。この設定は、「生産履歴票設定保存」シートに保存されます。

生産履歴票作成の詳細設定								
1								
2								
3	フォーマット選択	提出用						フォーマットの保存
4		新規作成						
5	工程区分1	新しい名前で保存						
6	工程区分名	提出用						
7	データシート	社内検討用						
8	対象作業	で						
9		データ1						
10		データ1	播種	定植				
11	生産履歴票に記載する項目名	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	
12		日付	作業名	資材名	区分	使用量	品種名	
13	データシートの列記号	列記号1	B	J	T	T	V	
14		列記号2					AR	
15		列記号3						
16		列記号4						
17	1セル複数データの処理			あり	あり	あり		
18	リンク (列記号1)	台帳名			農薬台帳			
19		リンク元列名			農薬名			
20		リンク先列名			区分			
21	リンク (列記号2)	台帳名			肥料台帳			
22		リンク元列名			肥料名			
23		リンク先列名			区分			

(1) 「生産履歴票設定」シートを表示します。

(2) 「フォーマット選択」をクリックして、プルダウンリストから「新しい名前で保存」を選択します。



(3) 「フォーマットの保存」ボタンをクリックします。

(4) フォーマット名を入力して「OK」ボタンをクリックします。



5 生産履歴票（生産履歴票の作成・印刷）

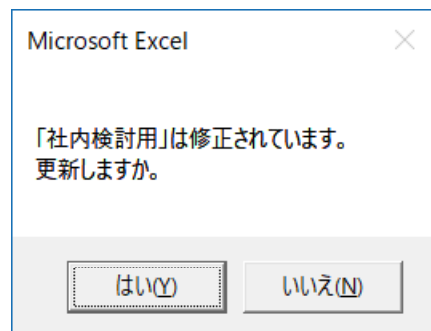
生産履歴票の作成は、「生産履歴票」シートで作成対象のほ場を選択して行います。

	A	B	C	D	E	F	G	H	J	
1	生産履歴票									
2	年度	30								
3	作目名	こぼう								
4	品種名									
5	ほ場番号									
6	ほ場名									
7	地番									
8	面積									
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										

- (1) 「生産履歴票」シートで「年度」、「作目名」、「品種名」を入力します。
品種名を入力すると、(2) のほ場番号のプルダウンリストには、指定した品種を作付けしているほ場だけが表示されます。
- (2) 生産履歴票を作成するほ場を選択します。
「ほ場番号」欄をクリックすると、「ほ場台帳」にあるほ場番号がプルダウンリストに表示されますので、その中から選択します。
「品種名」が指定されている場合には、その品種が作付けされているほ場だけに絞り込まれてプルダウンリストに表示されます。
- (3) 「生産履歴票作成」ボタンをクリックすると生産履歴票が表示されます。

ここで、列幅が各項目の文字量に合っていない場合には、列幅を調整します。

調整した列幅を保存したい場合には、「生産履歴票作成」シートで「フォーマットの保存」ボタンをクリックして保存します。この場合、右のメッセージが表示されるので、「はい」をクリックしてください。



- (4) エクセルの印刷機能で印刷します。

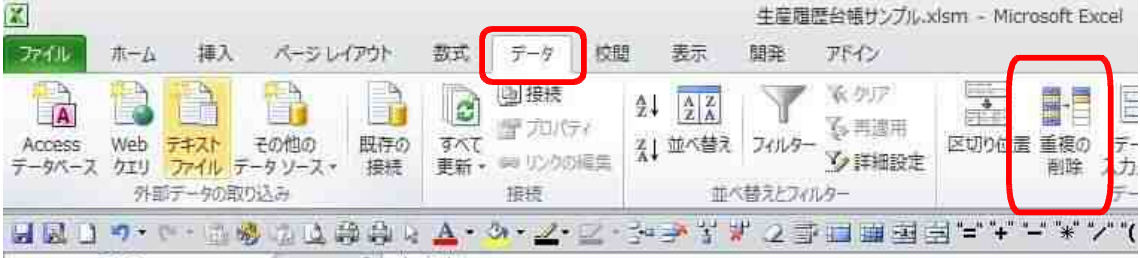
IV その他

1 一部の生産工程管理システムで必要となる出力データの加工

一部の生産工程管理システムでは、同一作業日・同一ほ場・同一作業について、作業者ごとにデータ行が作成されるため、生産履歴が重複してしまいます。それを解決するためには「重複の削除」が必要です。

(1) データシートにシステム出力データを貼り付けます。

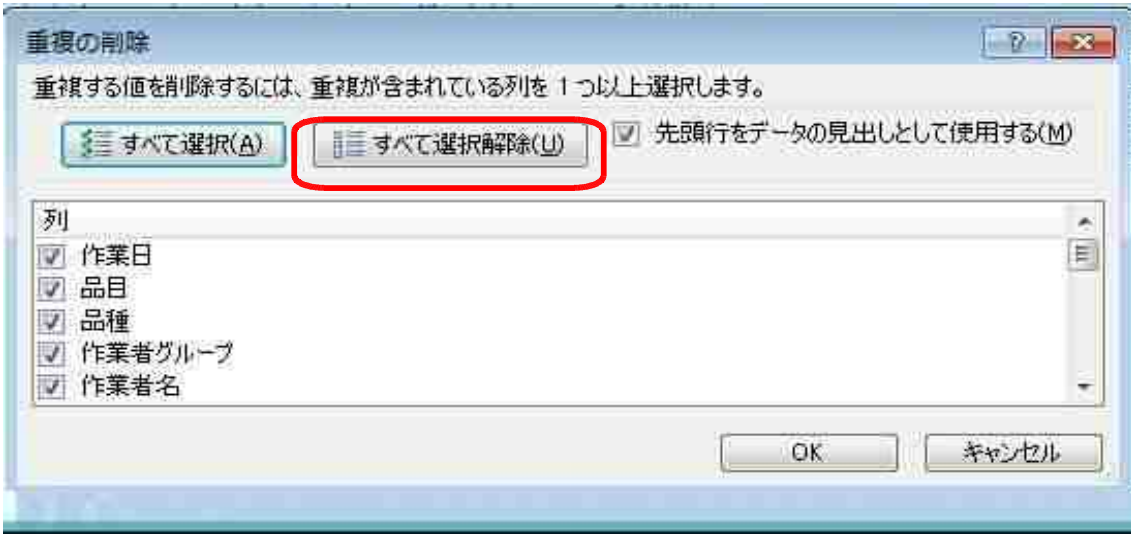
(2) 「データ」→「重複の削除」をクリックします。



The screenshot shows the Microsoft Excel interface with the 'Data' tab selected. The 'Remove Duplicates' button in the 'Data Tools' group is highlighted with a red box. Below the ribbon, a data table is visible with columns A through I.

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	作業日	品目	品種	作業者グループ	作業者名	圃場グループ	分筆名	作業	作業時間
2	2018/2/8	キャベツ	F1 恋路	生産者	山田太郎	キャベツ	1号線前	堆肥散布	
3	2018/2/8	キャベツ	F1 恋路	生産者	山田太郎	キャベツ	1号線前	堆肥散布	1.2
4	2018/2/8	キャベツ	F1 恋路	生産者	山田花子	キャベツ	1号線前	堆肥散布	1.2
5	2018/2/8	キャベツ	F1 恋路	生産者	佐藤二郎	キャベツ	1号線前	堆肥散布	1.2
6	2018/2/8	キャベツ	F1 恋路	生産者	中村四郎	キャベツ	1号線前	堆肥散布	1.2
7	2018/2/8	キャベツ	F1 恋路	生産者	山田太郎	キャベツ	ハウス横	堆肥散布	
8	2018/2/8	キャベツ	F1 恋路	生産者	山田太郎	キャベツ	ハウス横	堆肥散布	0.9
9	2018/2/8	キャベツ	F1 恋路	生産者	山田花子	キャベツ	ハウス横	堆肥散布	0.9
10	2018/2/8	キャベツ	F1 恋路	生産者	佐藤二郎	キャベツ	ハウス横	堆肥散布	0.9
11	2018/2/8	キャベツ	F1 恋路	生産者	中村四郎	キャベツ	ハウス横	堆肥散布	0.9

(3) 表示されたウィンドウで「すべて選択解除」をクリックします。



The screenshot shows the 'Remove Duplicates' dialog box. The 'Remove All Duplicates' button is highlighted with a red box. The dialog box contains the following text and options:

重複の削除
重複する値を削除するには、重複が含まれている列を1つ以上選択します。

すべて選択(A) すべて選択解除(U) 先頭行をデータの見出しとして使用する(M)

列
 作業日
 品目
 品種
 作業者グループ
 作業者名

OK キャンセル

(4) 作業日, ほ場, 作業に該当する項目名 (下図の例では「作業日」, 「分筆名」, 「作業」) にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックします。

